種郵便物認可　　©河北新報社 2012（日刊）

へいあんグループ
冠婚葬祭から
快適生活まで
あいあーる
仙台市青葉区錦町1-6-34 TEL 022-227-3336
www.heian-sendai.co.jp

河北新報
2012年（平成24年）
4月21日（土）
夕刊
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
（郵便番号 980-8660）
電話（022）211
総合案内 1111
読者相談室 1447
夕刊編集部 1146

再生 せんだい

ひと模様 ⑮

主婦の視点 支援に反映

被災地情報発信・橋渡し役に奮闘

i ーくさのねプロジェクト代表

砂子　啓子さん(38)

東日本大震災で自宅が大きな被害を受けた砂子啓子さん(38)＝仙台市泉区＝は、郷里の佐賀県に一時、母子避難し「iーくさのねプロジェクト」を設立した。暮らしに密着した主婦の視点から、被災地の状況を全国に発信し、橋渡し役として奮闘。被災者の心の支援にも力を入れている。

「自分のような普通の主婦が、できることをしていくことが大事だと思う」と話す砂子さん

激しい揺れで、自宅マンションは暮らせなくなった。砂子さんは幼い息子2人と避難所で2晩を明かした後、山形空港経由で佐賀県の実家へ戻った。温かい食事でホッとしたのもつかの間、東北沿岸を襲う津波の映像を初めて目にし、体が凍り付いたという。

佐賀県で活動

「食べ物やおむつ、カセットコンロを送ってほしい」。石巻市や多賀城市、福島県の友人から、救援物資を求めるメールが次々舞い込む。居ても立ってもいられず、翌日、佐賀県庁を訪ねたが「宮城県の要請を受けた物資しか送れない」という返事だった。

「組織が大きいと、きめ細かな支援はできない。現地を知る自分がじかに被災地のニーズを聞き取り、必要な物を必要とする人の元へ送ろう」。砂子さんは東北から遠く離れた佐賀県で、支援活動に取り組む決意をした。

生活協同組合あいコープみやぎの理事を務め、宮城県内各地の組合員や生産者と交流がある。顔と実名を出して「iーくさのねプロジェクト」のホームページを作り、被災地の生の声を伝えたり、学校を回って講演したりして寄付を募った。

これまでに集まった支援金は300万円を超えた。メッセージを添えたTシャツ600枚、雑巾1000枚、バスタオル、タオルケットなどを学校や医療関係者らに送り、佐賀県から被災地へ入る泥かきや炊き出しボランティアの仲立ちをした。

本音に耳傾け

転居先が見つかり、夫が待つ仙台へ戻れたのは、震災から半年後の昨年9月。砂子さんは物的支援も続けつつ、心の支援に軸足を移した。

力を注いでいるのは、趣味の天然酵母パン作りを生かした仮設住宅でのお茶っこ飲み会。前夜、5歳と3歳の息子を寝かし付けてから生地をこね、集会所にオーブンと発電機を持参してパンを焼く。

主婦同士でパンを作ると、ぼろっと「話を聞いてほしい」と言われる時がある。砂子さんはただ、耳を傾ける。「支援というより、リラックスして本音でしゃべれる空間づくりを心掛けています」

社会参加実感

7年前、第1子を生後5カ月で亡くした。心にふたをした時期が長期間あった。「震災で家族や家をなくした人の体験は、私とは違う。分かったふうなことを言っちゃいけない」と自分に言い聞かせる。最低でも10年は被災者に寄り添っていくつもりだ。

昨年秋に福島第1原発事故の風評被害で窮地に陥ったコメ農家と、佐賀県の酒造会社の間を取り持った。この春、「福興支援の酒　絆伝心」が発売された。

「被災地にとっては、火事場にスポイトで水を掛けているような活動かもしれない」。1年前はそんな気持ちだった。今は「何もしないでいるより良かった」と思える。

子どもたちのためにも、今後のエネルギー問題を人任せにせず考えようと、原発の是非を問う国民投票実施に向けた署名を集める。「自分のような子育て世代が、一市民として社会参加していくことが大事ではないか」。支援活動を通じ、そう感じている。

＝土曜日掲載

IMF強化35兆円に

欧州危機封じ込め

G20声明採択

【ワシントン時事】20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議は20日午後（日本時間21日未明）、声明を採択して閉幕した。欧州債務危機を封じ込めるための国際通貨基金（IMF）の融資基盤強化について、声明は「4300億㌦（約35兆円）を超える資金拠出の確約が得られた」と明記。各国からの拠出表明額を積み上げた結果、開幕前に設定した目標額4000億㌦を達成し、欧州危機に連携して対応することを確認した。

安住淳財務相は閉幕後の記者会見で、今回の会議の意義を「世界経済にとって大きな成果があった」と強調した。G20前にいち早く600億㌦の拠出を表明した日本は今回、単独の国として最も多い額を拠出することになる。

IMFのラガルド専務理事は、日本の姿勢を評価した上で、各国の拠出により「IMFの融資能力は（従来の）2倍になった」と述べ、欧州危機への適切な対応が可能になったとの考えを示した。

他の主な国・地域の拠出額は、ユーロ圏諸国が2000億㌦、英国と韓国、サウジアラビアは各150億㌦など。これまで態度を保留していた中国やロシア、インド、ブラジルなど新興国も、額は非公表ながら協力する方針を表明。一方、米国やカナダは拠出表明を見送った。

声明は、世界経済が緩やかな回復を続けているとしながら、欧州金融市場の不安定などを理由に「下方リスクはなお根強い」と指摘。

さらに原油価格の上昇に懸念を示し、「必要に応じて追加措置を実行する用意がある」と、戦略備蓄の放出などで相場の安定を図る姿勢を確認した。

◇ＩＭＦ強化の国別拠出額

ユーロ圏	2,000億㌦
日　本	600億㌦
韓　国	150億㌦
サウジアラビア	150億㌦
英　国	150億㌦
スウェーデン	100億㌦
スイス	100億㌦
ノルウェー	93億㌦
ポーランド	80億㌦
オーストラリア	70億㌦
デンマーク	70億㌦
シンガポール	40億㌦
チェコ	20億㌦
その他	具体額未定
合　計	**4,300億㌦超**

（注）その他は中国、ロシア、ブラジル、インド、インドネシア、マレーシア、タイなど
（ワシントン時事）

G20声明骨子

- 一、国際通貨基金（IMF）強化で4300億㌦超の拠出確約
- 一、ユーロ圏諸国による3月の安全網強化の決定を歓迎
- 一、国際金融の安定確保に必要な行動を取る
- 一、世界経済の下方リスクはなお根強い
- 一、原油高を警戒し、必要に応じ追加措置を実行

（ワシントン時事）

法事・慶事
仕出し料理
燈明
みふな
288-3111

北朝鮮

核実験準備ほぼ完了

日韓政府確認

2週間以内実施も

【ソウル、東京共同】北朝鮮が過去に2度の核実験を行った同国北東部の咸鏡北道吉州郡豊渓里で、3度目の核実験の準備をほぼ完了したことが21日分かった。韓国政府関係者が明らかにした。

過去の実験で使用した坑道とは別の新たな坑道の掘削作業が終了、「核兵器」や観測機器の設置も終わったとみられる。日本の政府高官や防衛省幹部も「いつでも実験できる状況だと認識している」と述べた。

21日付の韓国紙、朝鮮日報は実施を決断すれば、技術的には2週間以内に実験可能な状態だと伝えた。

今月13日の人工衛星と主張する長距離弾道ミサイルの発射実験に失敗した北朝鮮は17日、核実験や長距離ミサイル発射の一時停止を約束した2月の米朝合意破棄を表明した。日韓両政府は、金正恩第1書記の新体制が「核保有国」としての地位を誇示するため、核実験を強行する可能性が高まったとみている。

白アリ・羽アリ・ハチ駆除
河北消毒センター
376-4333

朝鮮日報による
しい坑道の入り口
に、以前は置かれ
た土砂が見えなく
た。このため、坑
は「核兵器」の設
既に終わり、土砂で
が埋め戻された可
高い。

新坑道に関して
偵察衛星が昨年から
の状況などを監視
韓の情報当局が核実
備の進み具合を推
作業をしてきた。

韓国の情報当局に
と、今月1日に豊渓
核実験場周辺を撮
民間の衛星写真で
道の入り口に他の場
ら運ばれてきた大量
砂があるのが確認さ
いた。

再生へ心ひとつに

2012・4・21

河北抄

ようやく、春の陽気が感じられるようになってきた。東北最大規模の148種（1日現在）を展示する八木山動物公園（仙台市太白区）に足を運んでみると、さまざまな季節の変化を見つけることができる。

東日本大震災で損壊し、リニューアルしたサル山では春の息吹を待ちわびたかのように、子ザルたちが元気に駆け回っている。付近ではサクラのつぼみがほころび、園中央の「森の食堂」東側にはひっそりとカタクリの花が咲く。

一方で、アフリカ園のキリンやゾウ、猛獣

舎のトラやホッキ
グマを間近で見ら
醍醐味（だいごみ）は季節を問
い。仙台市民にと
散歩気分で出掛け
はもってこいの場
言えるだろう。

市は近い将来、
ジャイアントパン
展示しようと準備
めている。新たな
がまた一つ加わる
に期待は高まるが
掛かりな面もある
ンダばかりが脚光
び、ほかの動物、
て園全体への関心
れてしまうこと

今でも来園者を
に楽しませてくれ
物公園に、新たな
を探しに出掛けて
はいかがだろうか